

1 0 0 - 8 9 3 3

東京都千代田区霞ヶ関 1-1-4

東京高等裁判所第 4 刑事部

裁判長 後藤 眞理子 様

[住所] _____

[氏名] _____

狭山事件の事実調べと 東京高検への全証拠開示勧告を 強く求めます。

「下山鑑定」は、石川一雄さん宅から発見された万年筆が被害者のものではないことを科学的に明らかにした重大な新証拠です。

私は、嘘の自白誘導と証拠のねつ造ではないかとの疑念を拭いきれません。

万年筆のインクは、被害者が事件直前まで使っていたインクと色が違います。判決では補充された可能性を推論していますが、インクが混じった痕跡はありません。発見万年筆はねつ造です。

下山鑑定人の尋問をおこなって下さい。

私は強く訴えます。

狭山事件の事実調べと 東京高検への全証拠開示勧告を 強く求めます。

事件の当日、同時刻に「殺害現場」の隣の畑で農作業をしていた O さんは、「人影もみていない、悲鳴も聞いていない。そこで殺人が行われたなど信じられない。」との証言をしています。

被害者は本当にその「現場」で殺害されたのでしょうか？

「自白」以外に殺害現場を特定する証拠はあるのでしょうか？殺害現場を特定する物証を出してください。

O さんの証人尋問と現場検証をおこなって下さい。

私は強く訴えます。

狭山事件の事実調べと 東京高検への全証拠開示勧告を 強く求めます。

開示された取調べ録音テープの筆記場面での取調官とのやりとりから、石川一雄さんはひらがなも書けない状況がわかります。

同じく、開示された逮捕当日の石川さんの上申書と脅迫状の筆跡は明らかに違います。

また、脅迫状の訂正は被害者の万年筆でおこなわれたことになっていますが、訂正箇所のペン先は被害者の万年筆ではない中太のペン先であるとの科学的証明もされています。

筆跡鑑定の証拠調べ、森、魚住、川窪鑑定人への鑑定人尋問をおこなって下さい。

私は強く訴えます。

狭山事件の事実調べと 東京高検への全証拠開示勧告を 強く求めます。

2度の徹底した家宅搜索（のべ26人、計4時間25分）で発見されなかった「万年筆」が、3度目に証拠物名を明かした上で数分で簡単に見つかったなんて信じられません。

しかも、万年筆からは被害者の指紋も、石川一雄さんの指紋も検出されず、発見時に素手で取られた石川さんの兄の指紋しかないなど、この証拠物と発見・搜索過程に大きな疑念を持たざるを得ません。家宅搜索にあたった複数の元警察官が、「発見された場所は責任を持ってしっかりと調べたが、万年筆はなかった」と証言しています。

万年筆の発見経過を含め、現場検証、元警察官の証人尋問をおこなって下さい。

私は強く訴えます。

[取扱団体] 狭山東京実行委員会

狭山事件の事実調べと 東京高検への全証拠開示勧告を 強く求めます。

新証拠の発見を要件とする再審制度の趣旨からも検察官の手持ち証拠の開示は当然のことです。弁護団からの重要証拠の開示要求に「不見当」や「開示の必要性なし」を繰り返す検察官の姿勢は極めて不誠実です。

埼玉県警や浦和地検等の「証拠物の一覧表」を弁護団に提示するよう検察官に勧告して下さい。

国民および弁護団が求めるすべての証拠の開示を東京高等検察庁に対して勧告して下さい。

私は強く訴えます。

62円
切手

100-8933

東京都千代田区霞ヶ関 1-1-4

東京高等裁判所第4刑事部

裁判長 後藤真理子 様

[住所] _____

[氏名] _____